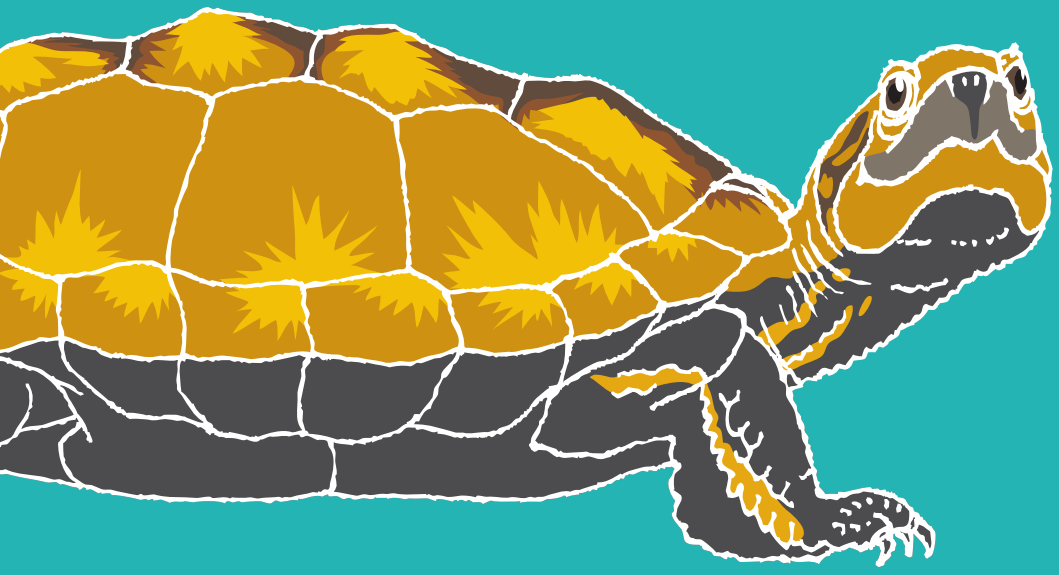
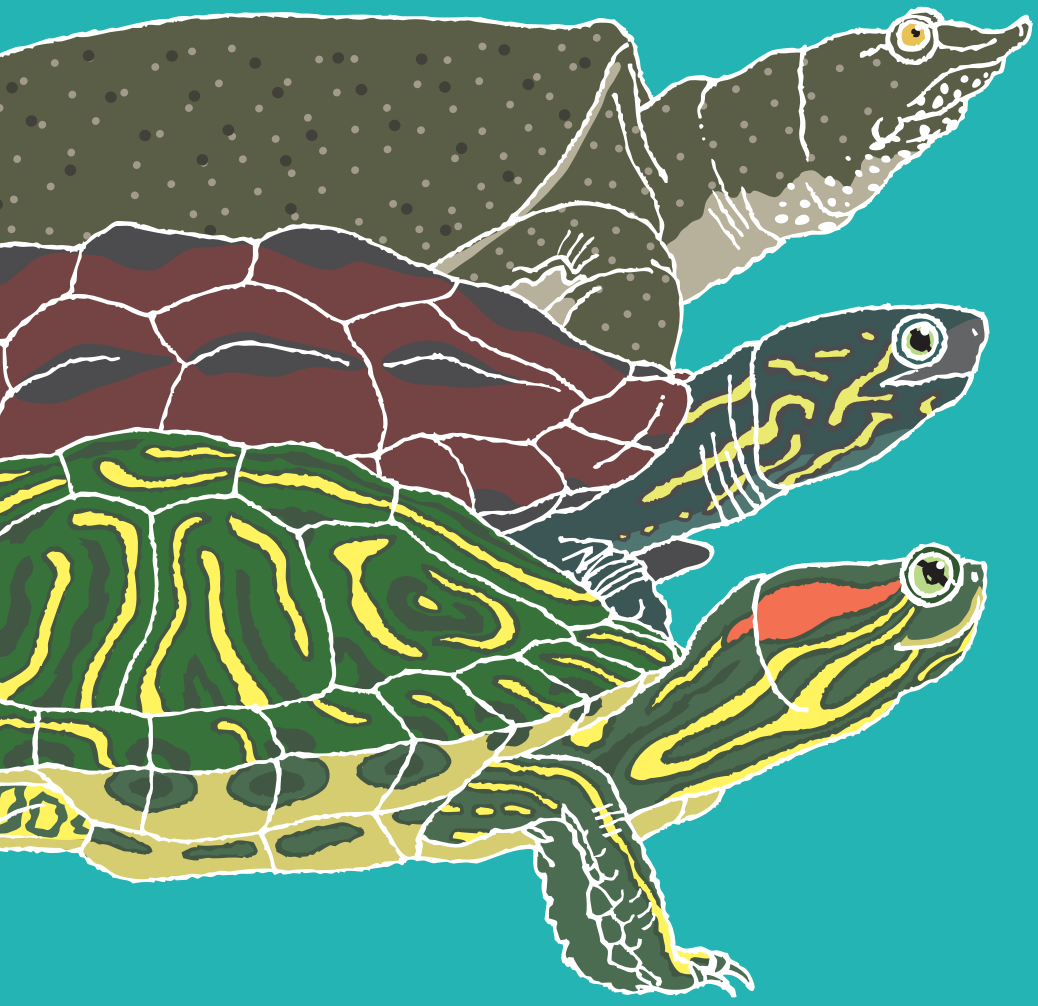
自然しらべ2013



琉球列島版

日本のカメさがし！

身近な生きものから見えてくる生物多様性



日本のカメがピンチです。カメラとマニュアル片手に、あなたの町でカメを見つけてみませんか。
全国からの情報が集まれば、カメを通した「日本の自然の定期健康診断」になります。

実施期間　2013年 5月 1日 ～ 10月 31日　主催　公益財団法人日本自然保護協会　共催　読売新聞東京本社

協賛　Sanikleen　JR西日本　COLORATA　誌面協賛　日経サイエンス　一個人　ecomom　散歩の達人　旅の手帖

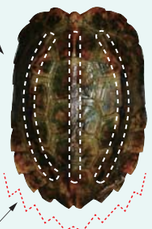
協力　mont·bell　こどもエコクラブ　Nikon　日清製粉グループ　このは　学研グループ　日本カメ自然誌研究会

「自然しらべ2013」は、東京ガス環境おうえん基金の助成を受けて実施しています。

これがカメを見分けるポイント！ 琉球列島版

	リュウキュウヤマガメ	ヤエヤマセマルハコガメ	ヤエヤマイシガメ
	国指定天然記念物 日本固有種	国指定天然記念物 日本固有亜種	日本固有亜種
見た目	甲羅に3本の盛り上がった筋がある。 背甲の後はギザギザしている。尾が長い。	背中がこんもりしている。	甲羅が平らな感じ。
自然分布	沖縄島北部、久米島、渡嘉敷島。	石垣島、西表島。	石垣島、西表島、与那国島。
大きさ（甲長）	オス・メスともに甲長14cm前後。	オス・メスともに甲長15cm前後。	オスメスともに甲長17cm前後。 オスの方がやや大きい。

背



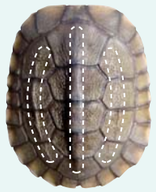
腹

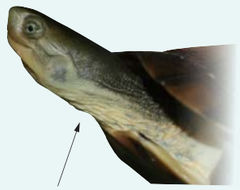
背

腹

背

腹





ニホンスッポン

鼻先がとがっていて、甲らがやわらかい。分布は本州、四国、九州とその属島。中国東部、朝鮮半島、台湾。オス・メスともに30cmくらいまで成長する。
琉球列島のいくつかの島でも、ニホンスッポンが見られますが、全て人為的に移入されたものであることが分かっています。ニホンスッポンについては「日本列島版」のマニュアルを参考にしてください。

危険 かまれると危険です。
近寄らないようにしましょう。

注意 カメが生息する環境には、ハブも生息しています。野外でカメを探すときは、ハブに注意して行動しましょう。出会ってしまった場合でも、かまれないよう、むやみに刺激を与えず、その場をそっと離れましょう。

リュウキュウヤマガメとヤエヤマセマルハコガメは国が天然記念物に指定しており、持ち運んだりすることはもちろん、さわるだけでも文化財保護法に違反します。懲役刑や罰金刑に処せられるので、注意してください。ただし道路の側溝や田畑の水路など人工構造物に落ちて這い出せないなど、死んだり傷付いたりする恐れがある場合、取り上げて最寄りの生息場所に放すなどの救済をするのはやむを得ないでしょう。
なお、リュウキュウヤマガメもヤエヤマセマルハコガメも、環境省版レッドリストで絶滅危惧II類に挙げられています。
ヤエヤマイシガメも絶滅危惧種（沖縄県版レッドリストで準絶滅危惧）なので、注意しましょう。

●「本州・四国・九州」にくらすカメについて

「本州・四国・九州」にくらすカメは、ニホンイシガメ、クサガメ、ミシシッピアカミミガメなどです。別紙「自然しらべ2013　マニュアル」に記載しています。マニュアルご希望の方は、日本自然保護協会にご連絡をいただくか、自然しらべウェブサイトからダウンロードしてご利用ください。

こんな場所を探してみよう

ヤエヤマイシガメはニホンイシガメやクサガメと同様に半水生で、池や川、水田などの湿地に棲んでいますが、リュウキュウヤマガメとヤエヤマセマルハコガメは陸生で、草原や林、森に棲んでいます。

リュウキュウヤマガメとヤエヤマセマルハコガメは、人間の生活圏に近付くことがあります。畑に落ちた作物の実を食べに来たり、チリ（ゴミ捨て場）で食べれられそうなものを探したり、イヌやネコの餌を食べに来たりすることがあります。

リュウキュウヤマガメもヤエヤマイシガメもヤエヤマセマルハコガメも、夜行性が強いカメです。陸生のリュウキュウヤマガメとヤエヤマセマルハコガメは雨上がりに活発に活動します。

琉球列島のいくつかの島には、本来分布していなかったカメが持ち込まれています。ヤエヤマイシガメは、波照間島や宮古島、沖縄島、座間味島、阿嘉島など琉球列島の他の島にも定着しています。

道路の側溝や田畑の水路も観察してみましょう。そのようなコンクリート張りの溝に落ちて、元の生活場所に帰れなくなっているカメが見つかることがあります。

しらべた成果は「結果レポート」にまとめて参加者全員にお送りします。（2014年1～3月頃を予定）

調　査　票

見つけた種類や場所ごとに、調査票を1枚使ってください。コピー可

見つけたカメの種類名

カメは何をしていましたか
ひなたぼっこ・泳いでいた・その他（　　）

見つけた数
匹

見つけた日時
月　日 だいたい　時頃

見つけた場所（都道府県・市町村・字名・池川湖等の名前）
都道府県　市町村　字　池川湖

見つけた場所の環境
沼池・湖・川・湿地・水田
その他（　　）

一緒に調べた人数
人

個人情報　※成果報告書にお名前を掲載させていただきます。それ以外の個人情報は、外部に公開されることは一切ありません。

●送ってくださったお写真の公開の可否（ 可 ・ 不可 ）

お名前（フリガナ）

住所　〒　　－

TEL　　e-mail

しらべた結果の送り方

※今回の調査は野外のカメを対象にしています。ペットなどで飼育しているカメは対象外です。

●調査票にカメの様子やしらべた場所を記入しください。

●「カメ」の写真と「カメをみつけた場所」の雰囲気がわかる写真を撮影してください。

- カメに近寄れない場合でも、カメが小さく写っていれば種類をしらべられる場合がありますので、そういった写真も送ってください。
- 「みんなで楽しくしらべている様子」の写真もあれば送ってください。（写真に写っている人全員からの撮影許可を得たもののみお送りください。）

▲カメの撮影例

●調査票と写真を、「ウェブ投稿フォーム」、「郵送」又は「メール」で日本自然保護協会に送ってください。

ウェブの投稿フォーム

日本自然保護協会の
「自然しらべ」のサイトから
（http://www.nacsj.or.jp/）
「生きもの情報館」にアクセスして
ご投稿ください。

郵送での送付

〒104-0033
東京都中央区新川1-16-10
ミトヨビル2F
日本自然保護協会
自然しらべ係

メールでの送信

shirabe2013@nacsj.or.jp

メール本文に
「調査票」の項目を記入し、
写真を添付して送ってください。
10MB程度まで受信可能です。

【お願い】
- マニュアルに記載している以外のカメも見つけたら送ってください。
- 陸を移動しているカメが車に轢かれてしまうことがあります。かわいそうですが、見つけたらその情報もお寄せください。

参加者には、
抽選で素敵なプレゼントも

投稿されたすべての写真の中から、優れたものは「ニッポンのカメのいる風景」写真コンテストで表彰します。

【注意事項】

- お子さんは一人で出かけずに、大人といっしょに出かけましょう。
- 熱中症対策や安全のため、帽子・長そで・長ズボンで出かけましょう。十分な飲み水を準備し、観察中は適度に休憩をいれ、ハブなどの危険な生きものに用心し、紫外線や防虫対策等も忘れずに行いましょう。
- 水辺での調査のため、常に注意報や警報に気をつけ、溺れることがないよう危険を回避しましょう。
- かみつくカメもいます。調査中は、むやみにカメに触れないようにしましょう。
- ペットとして飼っているカメは野外に放たず、最後まで責任を持って飼いましょう。

【写真と記録についてのお願い】

送っていただいた写真や記録は、貴重な資料として日本自然保護協会で大切に保管します。また個人情報*を除き、自然しらべに関する広報および自然保護やカメの研究の発展の為に、事前のお断りなく公表し活用させていただく場合があります。ご了承のうえ記録をお送りください。

*個人情報は、自然しらべに関する結果報告やご案内のためと当会からの自然保護の情報提供にのみ利用します。ご本人の承諾なしに、第三者に提供することはありません。

「自然しらべファミリー」のエントリー募集中！

自然しらべは、毎年テーマを変えて、親子やお孫さんなどのご家族やお仲間同士で身近な自然を見つめる機会を提供しています。みんなで一緒に参加して応援してください。
今年から、多くの特典を用意して毎年参加してくださるご家族を「自然しらべファミリー」として登録して活動を盛り上げていきます。日本自然保護協会の会員の方なら、どなたでも登録できます。調査票の裏面の「回答欄」にチェックしてお送りください。

自然しらべファミリーにエントリーすると・・・

- 毎年、自然しらべのマニュアルや結果レポートがお手元に届きます。
- 調査に参加した自然しらべファミリー対象の「特別プレゼント」が抽選で当たります。
- 各地で開催される自然しらべのイベントに優先的に無料で参加できます。
- 希望者には結果の詳細版冊子「成果報告書」がもらえます。

この機会に日本自然保護協会に入会してくださった方には、カメをデザインした記念バッジ（限定200個）がもらえます。

既に会員の方でご希望の方には500円（実費送料込み・後日振込）でお送りします。

まだ日本自然保護協会会員となっていない方には入会申込書をお送りします。（会費:普通会員5,000円/年、ユース会員（22歳未満）3,000円/年、ファミリー会員8,000円/年）

日本自然保護協会
〒104-0033 東京都中央区新川1-16-10 ミトヨビル2F
TEL.03-3553-4105　FAX.03-3553-0139

●主催: 公益財団法人日本自然保護協会 ●共催: 読売新聞東京本社 ●協賛: サニクリーン、JR西日本、カロラータ ●誌面協賛:『日経サイエンス』日経サイエンス社、『一個人』KKベストセラーズ、『ecomom』日経BP社、『旅の手帖』『散歩の達人』交通新聞社 ●協力: モンベル、日清製粉グループ本社、ニコン、こどもエコクラブ、『このは』文一総合出版、学研グループ、日本カメ自然誌研究会 ●活動助成: 東京ガス環境おうえん基金 ●学術協力: 矢部隆（愛知学泉大学教授／なごや生物多様性センターセンター長／日本カメ自然誌研究会代表） ●写真提供: 奥山保広、天白牧夫、矢部隆 ●イラスト: 浅野文彦 *順不同

●自然しらべをどちらで知りましたか。

新聞・雑誌・インターネット・NACS-J会報　その他（　　）

自然しらべファミリーになろう!

※自然しらべファミリーや記念バッジについては、上記の募集記事をご参照ください。

●自然しらべファミリーにエントリーしますか。　はい　いいえ

●記念バッジを希望しますか。　はい　いいえ

●NACS-Jの会員ですか。　はい　いいえ

●日本自然保護協会に入会しますか　はい　いいえ

●参加しての感想